

長梢剪定ブドウ成木を短梢剪定へ変更した場合の2年目の影響

窪田洋二・神 雅子

(園芸部)

【目的】

近年都内のブドウ圃場は火山灰土壌地域で開園されてきたが、新梢が伸長しすぎ、沖積土壌で確立された枝梢管理技術では適切な管理ができず、安定生産が困難な状況にある。そこで、従来の剪定方法である長梢剪定から枝梢管理の簡便な短梢剪定に樹形を変更し、生育を比較する。本年は変更2年目の生育について検討した。

【試験方法】

当場圃場（厚層多腐植質黒ボク土）定植の11年生‘紅伊豆、高尾’を供試した。2000年に各品種とも従来の長梢剪定の樹形（以下：長梢区）から、主枝を2.5m間隔に配置し、結果母枝を5節にした短梢剪定の樹形（以下：短梢区）とした。収穫は一斉に行い、果房重、着色状況、糖度を調査した。‘紅伊豆’は長梢、短梢区各1樹、‘高尾’は長梢区1、短梢区2樹とした。

【成果の概要】

1) ‘紅伊豆’の短梢区では有花穂新梢発生節の割合が低かった。これは2年生部分主枝で70%と低いためと思われた。‘高尾’は、有花穂新梢発生節の割合が短梢区と長梢区ではほぼ同じであったが、‘紅伊豆’同様、2年生部分主枝からの割合が少なかった（表1）。

2) ‘紅伊豆’の収量は両区ともほぼ同様であった。これは短梢区では有花穂新梢が少ないものの、着房数は長梢区とほぼ同様に確保できたためと思われる。‘高尾’では、短梢区の着房数は長梢区とほぼ同様であるにもかかわらず、収量は少なかった（表2）。

3) ‘紅伊豆’の果房重は短梢区が長梢区よりも大きく、着色も良好であった。特に1年生部分主枝に大きな果房が着果していた。‘高尾’は、短梢区の果房重が長梢区より小さく、これが収量の少ない原因と思われた。しかし、着色、糖度は短梢区で高かった（表3）。

4) 短梢区の主枝部位別に果房をみると、‘紅伊豆’では1年生部分主枝が2年生より果房重が大きく、同齢の主枝内では先端部に大きな果房が着果していた。‘高尾’では、主枝の年齢、主枝内部位と果房重とに関係は見られず、着色、糖度も同様な傾向であった（表4）。

5) 仕立て法の違いによる整房労力を比較したところ、2品種とも短梢区では長梢区に比べ6割程度少なくなっていた（表5）。

6) 以上の結果から、成木の‘紅伊豆’は短梢剪定へ変更2年目で長梢剪定とほぼ同様な収量となり、果房重、着色も良好であるので、短梢剪定への変更が有利と判断した。‘高尾’の場合は、短梢剪定で着房数は長梢剪定同様に確保でき、着色、糖度も高く品質は良いものの、果房重が小さいため長梢剪定より収量が少なかった。このため、大きな花穂を発生させ果房重を大きくできれば、‘高尾’も短梢剪定が可能と判断した。

表1 仕立て法の違いによる有花穂新梢発生節の割合 (%)

品 種	処理区	全 体	2年生部分主枝		1年生部分主枝	
			基 部	先端部	基 部	先端部
紅伊豆	短 梢	84.2	76.8	70.4	95.0	95.0
	長 梢	100.0				
高 尾	短 梢	75.4	61.7	65.1	85.0	90.0
	長 梢	80.0				

表2 仕立て法の違いによる収量, 着房数

品 種	処理区	収 量	着房数
		(kg/10a)	(房/10a)
紅伊豆	短 梢	771	1,978
	長 梢	774	2,239
高 尾	短 梢	658	1,866
	長 梢	809	2,126

表3 仕立て法の違いによる果房重(g), 着色(C.C.値)および糖度 (%)

品 種	処理区		全 体	2年生部分	1年生部分
			紅伊豆	短 梢	果房重
		着 色	6.1	6.1	6.1
		糖 度	18.3	18.4	18.1
	長 梢	果房重	346		
		着 色	4.8		
		糖 度	18.3		
高 尾	短 梢	果房重	353	343	354
		着 色	7.2	7.2	7.2
		糖 度	19.0	19.0	19.1
	長 梢	果房重	380		
		着 色	6.8		
		糖 度	18.1		

表4 短梢せん定における主枝部位別の果房重(g), 着色(C.C.値)および糖度 (%)

品 種		2年生部分			1年生部分		
		基 部	中 部	先端部	基 部	中 部	先端部
紅伊豆	果房重	341	390	400	420	457	489
	着 色	6.2	6.0	6.2	6.6	6.2	5.4
	糖 度	18.4	18.4	18.5	19.0	17.9	18.0
高 尾	果房重	313	360	358	346	354	346
	着 色	7.0	7.2	7.5	7.2	7.2	7.2
	糖 度	18.2	19.6	19.2	19.6	18.8	19.0

表5 仕立て法の違いによる整房労力

品 種	処理区	時 間	万歩計
		(秒)	(示度)
紅伊豆	短 梢	2.9	3.7
	長 梢	3.9	5.7
高 尾	短 梢	10.2	8.1
	長 梢	12.3	12.3

1果房当たりで表示

高尾はGA処理を含めて計測